



知識社会を生き抜け

学校長 小邑政明

卒業生の皆さん、ご卒業
おめでとうございます。

皆さんがこれから踏み出そうとする社会は、科学技術の加速度的な発達によって、産業社会が農業社会から工業社会へ、そして情報社会へと変化してきました。私たちが位置しているのはもはや完全に情報社会です。また、技術をベースに、踏襲・伝承・継承してきた時代から、知識をベースに新たなものを創造する「知識社会」に入ってきています。つまり、この時代に求められるのは「創造的頭脳労働」です。ほしいものは何でも手に入るほど飽和し溢れかえるだけでなく、情報通信技術の進展にともない「情報」が氾濫する時代、価値あるものとないものが入り交じっている、「玉石混淆」の情報から宝となる情報を取捨選択した上で、自らの仕事に生かし、未来を切り拓く創造的な頭脳が求められる「知識社会」になってきています。

このような社会を生き抜くために卒業生の皆さんに二つお話をします。

第一は、社会人として求められる資質についてお話しします。

経済産業省が平成18年に発表した「社会人基礎力育成のススメ」では、新しい商品やサービスを作り出すために、新しい価値の創出に向けた課題の発見、解決に向けた実行力、異なる分野と融合するチームワークなどの能力が求められるとして、次の三つにまとめています。

①物事に進んで取り組むなどの

「前に踏み出す力(action)」

②現状を分析して課題解決のプロセスを明らかにし、新しい価値を生み出す

「考え抜く力(thinking)」

③相手と自分の意見の違いや立場の違いを理解し、規律と柔軟の双方に気配りができる

「チームで働く力(teamwork)」です。

本校が作成したオリジナルテキストの冒頭にある言葉、「Everything stands on the basis(すべては、基礎の上にある。)」を思い起こし、社会人としての基礎的資質である「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」を身につけてください。

第二は、若さと謙虚さについてお話しします。

私は、この二つが人を成長させるための大切な要素であると考えています。人が成長するためには常に学習する姿勢が大切ですが、そのためには、たくましい意志、豊かな創造力、もえる情熱などの「若さ」が必要です。しかし、若さがあっても謙虚さがなければ現状に満足してしまい、さらに向上しようという気持ちは沸いてきません。皆さんが、40代や50代になっても、むしろそれぞれの職場で主役となるこの時に若さと謙虚さを保ち、自らを高めていっていただきたいと思います。

私達鶯谷高等学校の教職員は、皆さんの将来にわたるご活躍を期待するとともに、後輩の生徒の皆さんへの目標となつていただくことをお願いして贈る言葉とします。

今回は「志 一歩一歩」について書きます。